

平成26年7月29日

報道関係者 各位

平成26年度島原子ども狂言ワークショップ公開講座

「島原城薪能と松平文庫」の開催について

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件につきまして、平成26年度の島原子ども狂言ワークショップの公開講座として、下記のとおり公開講座を開催しますので、ご案内いたします。

記

1. 講座名 島原子ども狂言ワークショップ「島原城薪能と松平文庫」
2. 日 時 平成26年8月8日（金）午後6時半
3. 会 場 島原図書館視聴覚ホール
4. 講 師 松尾卓次（島原城解説員）
5. 入 場 無料
6. 備 考 別紙チラシ参照



有明海にひらく湧水あふれる
火山と歴史の田園都市 島原

担当：教育委員会社会教育課

林田 崇

電話：0957-68-5473（内線 652）

E-mail：t-hayashida@city.shimabara.lg.jp

～島原子ども狂言ワークショップ’ 公開文化講座 2014～

‘島原城薪能と松平文庫’

： 長崎県指定文化財・松平文庫の貴重な資料を特別公開！

島原での能楽の歴史をわかりやすく解説！

島原城薪能や島原子ども狂言の島原における歴史的意義を再認識し伝承します。



島原には17世紀後半の藩主松平忠房公の頃より能楽の文化が伝えられ、城内（現在の島原第一小学校校庭）には能舞台があり、吉事には庶民も招かれて共に喜びを分かちあっていました。庶民の中にも能楽が広まり、お城に呼ばれて御殿で披露した人もいました。そして、子ども達は芸事の手始めにまず狂言を学んでいたそうです。島原藩主松平家の貴重な書物を引き継いだ松平文庫には、藩日記のなかにそのような記録が残っている他、実際に使われていた多数の能や狂言の謡本や装束などの目録、能舞台が記された御殿図などの貴重な品々が残されています。

松平文庫を活用した地域独自のカリキュラム

「島原子ども狂言ワークショップ」では、狂言の体験と合わせて、この島原の能楽の歴史を、実物の松平文庫資料を見せていただきながら、講師である島原城解説員の松尾卓次先生に講義をしていただき学んでいます。

地元の貴重な資料を活用させていただく、島原ならではの貴重なカリキュラムです。



日時：平成 **26** 年 **8** 月 **8** 日（金） 午後6時30分～午後8時

講師：松尾 卓次先生（島原城解説員）

会場：島原図書館視聴覚ホール

主催：島原市・島原市教育委員会・島原文化会館

共催：島原城薪能振興会

協力：松平文庫・島原図書館・島原子ども狂言協力会・

島原子ども狂言ボランティアスタッフ

問い合わせ：島原市教育委員会社会教育課：（68-5473） 担当 林田

講座内容：松平文庫に残る能や狂言の資料の見学

島原の歴史と島原に伝わる古典芸能のお話